

議会だより

やまもと

山都

第40号

熊本県山都町議会

2021.5
3月定例会

『新緑の山へGO!』

安心・安全のために、九州ハイランドガイド協会はじめ脊梁を愛する方々によって
登山ルートが整備されています。

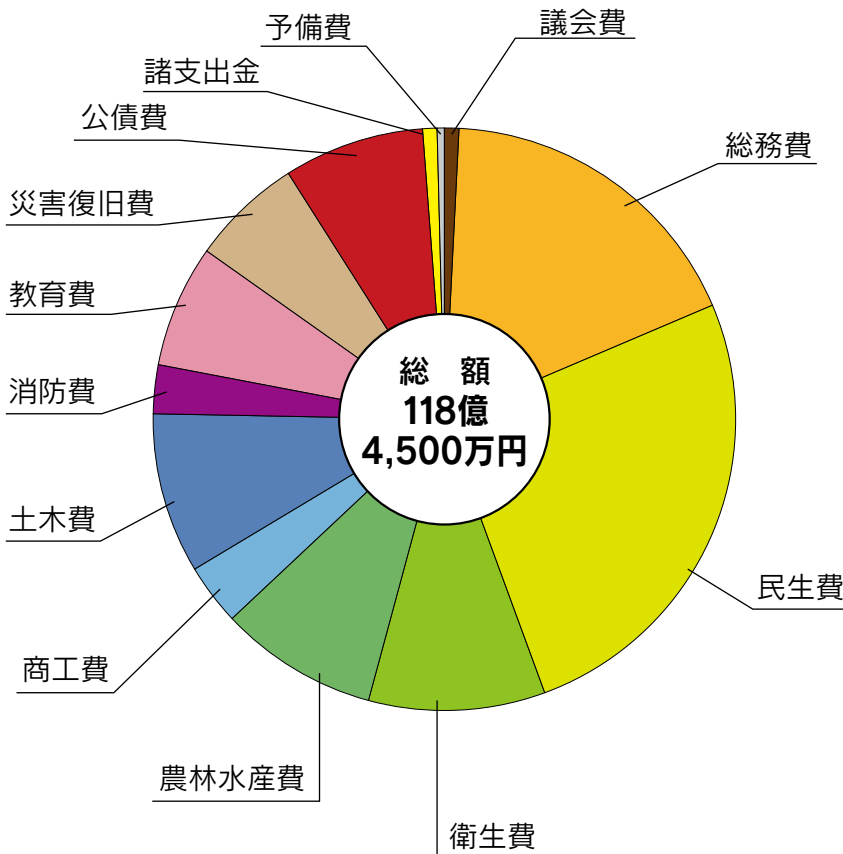


3月定例会

令和3年第1回定例会は、令和3年3月11日に開会し24日に閉会しました。条例の改正や制定18件、補正予算5件、新年度予算8件、その他工事請負契約や物品購入契約を審議可決しました。教育長、教育委員、監査委員の選任についても全員一致で可決しました。

令和3年度一般会計予算は、総額118億4,500万円としました。3月の町長選挙により、通常は経常経費を中心とする骨格予算となりますが、防災無線のデジタル化、体育館建設、新道の駅構想など大型の継続事業もあり、近年の当初予算と同規模の予算額となりました。

令和3年度一般会計予算費目別円グラフ



費目	金額 (千円)
議会費	94,426
総務費	2,103,869
民生費	3,060,131
衛生費	1,165,243
農林水産費	1,039,086
商工費	406,998
土木費	1,056,196
消防費	324,209
教育費	810,292
災害復旧費	739,320
公債費	919,636
諸支出金	95,594
予備費	30,000

特別会計とその他の会計予算

特別会計名	歳入・歳出
国民健康保険	25億7,306万4千円
後期高齢者医療	2億6,619万8千円
介護保険	30億3,110万9千円
国民宿舎	3,972万3千円
簡易水道	687万3千円

公営企業会計名	収入	支出	
水道事業	(収益)	4億6,213万5千円	3億6,272万4千円
	(資本)	3,570万9千円	2億5,418万8千円
病院事業	(収益)	11億4,991万3千円	11億4,991万3千円
	(資本)	2,767万6千円	5,849万7千円

令和3年度一般会計予算の主なもの

※印＝今年度最終事業。実績を分析し必要なものについては、次年度の予算化を検討
 ☆印＝新規事業

防災行政無線デジタル化事業 4億9,876万円

総事業費6億5,745万円
 アナログ放送は令和4年11月終了

☆新型コロナワクチン接種事業 5,055万円

人件費、医薬材料費、接種委託料など

中山間地地域総合整備事業 6,724万円

山田、長田芦屋田の区画整備

※山の都創造ファンド事業 1,600万円

- ①創造的復興、町づくり事業
- ②賑わい再生、企業支援事業
- ③空き家改修事業
- ④地区集会所備品整備
- ⑤生ごみ処理機、太陽光、木質ストーブ等助成

文化的景観保護推進事業 764万円

通潤橋周辺遊歩道整備測量設計費

中央グラウンド周辺整備事業 1億4,812万円

木材調達委託・芝生広場造成工事費

※地方創生総合戦略費 2,931万円

- ①農産物ブランド化事業
- ②山都経営塾
- ③山の都地域しごと支援事業
- ④矢部高魅力化プロジェクト
- ⑤総合的な学習→小中学校で郷土を学ぶ事業

農業振興費 500万円

☆農林振興事業補助金
 農業用ドローン(農薬散布用想定)導入事業

木造仮設住宅移築事業費 1億6,225万円

木造仮設住宅移築工事
 通潤山荘駐車場/大川町住宅/南田住宅事業

道路改良工事費 2億8,090万円

(原尾野-貸上線、須原-開田線、長谷-埋立線)

1億3,558万円

(上鶴線、水ノ田尾線)

9,122万円

(瀬戸-福良線、長谷-花立線、白小野-鶴越線)

山の都づくり事業 180万円

☆結婚新生活支援事業補助金
 新生活を始めるための経費(住宅取得費用、住宅賃料、引っ越しに係る経費等)を助成。上限60万円、3件分を計上。

【災害復旧費】農災:H28年災/5,277万円 H29年災/5,020万円 土木災:R2年災/6億634万円(対象86件)

令和2年度一般会計補正予算

令和2年度一般会計の補正予算は、10億6,800万円を追加し、総額は169億1,400万円となりました。主な内容は次のとおりです。

(千円)

費目	事業名	説明	金額
総務費	新型コロナウイルス対策事業費	山都町事業継続支援給付金 学校保健特別対策事業	47,700
民生費	障害者福祉	障害者自立支援給付費 障害児通所給付費	41,766
	児童措置費	私立保育園運営費負担金 (御岳保育園、さくらんぼ愛園、浜町乳児保育園)	34,989
農林水産業費	林業振興費	有害鳥獣捕獲隊補助助成金	17,912
商工費	観光施設管理費	そよ風パーク受変電設備改修工事 (キュービクル取替、高圧ケーブル工事)	25,520
		道の駅整備事業 (設計監理、造成施設、広場整備)	387,867
土木費	社会資本整備 総合交付金事業	長谷-花立線、瀬戸-福良線 改良工事 二瀬本-花上線、仮屋-神の前線、米生-滝下線 町道舗装工事	47,506
教育費	中央グラウンド 周辺整備事業	総合体育館整備事業 調整池整備 長原-後谷線改良工事	257,354
災害復旧費	現年度農業施設 災害復旧	農地98件、施設142件	135,000
諸支出金	基金	森林環境整備基金 30,408 まち・ひと・しごと創生推進基金 30,000 大矢野原演習場関連基盤整備基金 48,677 特定防衛施設周辺整備調整交付金基金 61,116 他	170,707

外、減額した分が住宅建設費、林業費等が減額となった。内訳は治山工事、間伐材利活用推進等である。

問（中村） 道の駅整備事業、施設工事費に2億9,000万円だが、道の駅の賑わいは次のインターチェンジができるまでだろう。町が抱える必要はないように思う。民間に任せることはできないか。将来的には重荷にならないようにと思う。建物を建てる計画か。

答（山の都創造課長）

建物にはトイレ、情報発信、物産販売等の役割がある。町の特産品や魅力をPRする場所であると考えている。

問（西田） 国県支出金は。地方債の内訳は。整備事業の設計監理委託料もあるが、昨日の答弁ではまだ発注段階にないという。金額の説明を。予算化するには苦労もあると思うが、予算が残った場合はどうなるのか。

答（山の都創造課長）

財源については、国県支出金の地方創生拠点整備交付金が1億9,200万円。起債は地

方債1億8,700万円。設計委託料は、建物に関するもの。建物の監理委託料も併せている。仮に減額になった場合は、交付金の返還となる。

問（吉川） 商品券事業が200万円の減額だ。その理由は。

答（山の都創造課長）

商品券発行委託料の減額について、事務費と特定郵便で配達した分があり、最終的に手元に届かなかつた分が減額となった。

問（甲斐） 開通前には道の駅が完成しなくてはならない。町の窓口となる施設としてのスピード感が必要。当初の予定から延びてきている。来年の八朔祭までには用途が立つぐらいに頑張ってもらいたい。

答（山の都創造課長）

若干押しているが、早く取り組んでいきたい。開通には必ずつ間に合わせる。

九州中央道 矢部インターチェンジ(仮称)の工事の様子



矢部中学校正門横



出口付近を北側から望む

令和2年度特別会計補正予算内訳

補正額	金額(千円)	説明
介護保険特別会計補正額	▲1,163	国県支出金、支払交付金の減
国民健康保険特別会計補正額	▲10,935	国民健康保険の減
簡易水道特別会計補正額	▲1,320	一般会計繰入金の減(総務管理費)
病院事業会計補正額	医療収益 ▲33,187	
	補助金 33,187	医療収益の不足分を確保支援補助金として繰入れ

『高速道路の開通を見据えたまちづくり』、 具体的に目指すものは

答 矢部インターチェンジ(仮称)まで開通すると、移動時間の短縮による生活利便性の向上が見込まれる。観光客の受け入れ態勢を強化し経済効果を向上させ、移住定住促進の事業も更に進めていく。



まはらまこと 眞原 誠 議員

問 梅田町長が掲げる「高速道路の開通を見据えたまちづくり」。

答 (町長) 熊本市都市圏への通勤・通学など、時間短縮による生活利便性の向上がなによりも大きい。また、救急搬送や農産物等の物流も、時間が短縮される。観光や、産業の振興に格段の効果があ

問 効果を見据えながら取り組む事業の中でも、特に大きな影響を期待するものは。

答 (企画政策課長) 以下の3点に力を入れる。①山都町グランドデザイン事業に掲げられた、新道の駅の整備、通潤橋周辺整備、中央グラウンド周辺整備。②人の流れをインターチェンジから町内へ誘導するため、回遊性を高め、滞在時間を伸ばし、観光協会や関係団体と連携して受入れ態勢、おもてなしやサービスの向上を図る。③定住策として、若者のニーズに合った住宅を整備。

問 山都町グランドデザインには通潤橋周辺の開発事業コンセプトとして、通潤橋見学客の滞在時間を長くすると記載されている。訪れたお客様

答 (町長) 滞留時間を長くする狙いの一つは経済効果である。来町者の町内消費を増やしてもらいたい。民俗資料館の茅葺屋根も葺き替えて美しくなり、御小屋についても、現在、教育委員会と文化庁とで協議をし、整備の方向。通潤山荘や、造り物小屋・文化の森等を周遊していただき、町内の商店街を利用していただきたい。



やまと文化の森での展示会の様子

質問の全容はこちら



問 滞留時間を長くして経済効果につなげていくための具体的な計画、あるいは既に取り組んでいる事業はあるか。

答 (山の都創造課長) やまと文化の森では様々なイベントの開催を切れ目なく行い、また、大造り物小屋を整備し、造り物の常設展示を行っている。令和3年度は通潤橋周辺の駐車場事情の改善に向けて、

下市の町有地や役場の駐車場を活用した臨時駐車場の実証実験を行い、来町者への行動履歴などのアンケート調査も行う。そのほか、起業支援事業補助金や、店舗の改修等が必要な方には、にぎわい再生事業補助金を用意し、商店街のにぎわい創出に向け事業者を支援している。

役場内では様々な職員研修が行われているが、男女共同参画の取組みは進んでいるのか



よしかわ 吉川 議員
みか 美加

答 女性職員に向けたステップアップセミナー。男女共同ではコーチング、タイムマネジメントといった様々な研修を紹介し、受講に努めている。

問 町の男女共同参画への本気度を確認したい。女性が活躍するためには、女性自身の意識改革、そして男性の意識改革がそれぞれに必要。役場内では様々な職員研修が行われているが、男女共同参画の視点による研修はどの程度、どのような内容で開催されているか。

答 (総務課長)

女性職員に向けたステップアップセミナー。男女共同ではコーチング、タイムマネジメントといった様々な研修を紹介

し、受講に努めている。研修内容を職務にフィードバックすることが大切。

問 総合計画における

人づくりの項目の中に、自治振興区における目標として、地域社会の中で男女共同参画の意識を高めるとある。自治振興区の役員の構成メンバーに女性が参画できるような制度の改革が必要だと思うが。

答 (企画政策課長)

女性の役員参画については、役員を依頼しても断られるケースも多いというのが現状のようだ。住民の半数を占める女性が自治振興区等の活動に参加する意義は大きく、女性の活躍で成り立っている業種もあり、女

性参画の必要性をアピールしていくことが大切だと考える。自治振興区については、年2回の代表者会議を開催、先進的事例などの講演会、研修会等を実施しており、女性部の活動も紹介しながら意識を高めていきたい。

問 DV被害や

派遣切り、生活

困窮、子育ての

悩みなど、生活

上の悩みについ

ては役場に相談

に行く方も多い

と思うが、どの

課に相談すれば

よいのか分から

ない、あるいは、

課をまわされる

ケースもあり相

談し難しい状況

が伺える。ワン

ストップの電話

相談窓口を創設して、そうした状況を改善する考えはないか。

答 (福祉課長)

現在、本庁、両支所の福祉担当部署では、高齢者や障害者、生活困窮者、消費者被害、それから児童相談など、いろいろな相談に応じている。町と

しても相談しやすい体制づくりの一つとして、電話相談窓口の設置には取り組むべきだと考えている。しかし、社会福祉士等の専門知識を持つ職員の配置が整うまでは、現在の体制で丁寧に対応していく。



役場に置かれている男女共同参画のパンフレットやカード

質問の全容はこちら



清和地区の南北を結ぶ町道は、重要な産業道路となっている。高速道路開通を見据えた改良工事が必要だ

答 九州中央自動車道を中心としたアクセス道路等の機能強化は第2次総合計画にも入っており、道路改良は必要な事業だと認識している。



議員 重昭 がい 甲斐

問 矢部インターチェンジ(仮称)が開通すると、清和・蘇陽方面への交通量の増加が予想される。道の駅の清和文楽邑の利用も大幅な増加が予想されるが、駐車場の拡張、駐車場北側からの入り口の改修、及び翁橋の架け替えについて、具体的な整備時期は出ているか。

答 (山の都創造課長) 令和3年度で、道の駅駐車場の段差の解消と新たな駐車場の確保のための、関連予算を計上している。翁橋については、橋梁施工業者の意見を聞きながら、現在概算事業費の積算をしている。実施時期はまだ明確ではない。

問 J Aの野菜集荷場や高月地区のランバーやまよに出入りする大型車やトレーラーが利用している重要な町道は、国道へのアクセス改善のために改良が必要である。高速道路開通を見越した今、その改良計画はどうなっているか。

答 (建設課長) 第2次山都町総合計画では、九州中央自動車道を中心としたアクセス道路等の機能強化が求められている。このため、早期事業化を要望している九州中央自動車道矢部蘇陽間を見据えた道路整備が必要であると考えている。朝日地域と国道218号線を結ぶ路線の重要性は認識しており、今後、改良に向け関係機関と協議を進める。

問 町は清和地区にインターチェンジを作る方針は。

答 (町長) 地元の熱意があればできると思っている。インターチェンジ設置には距離や人口といった概ねの指標があるが、最終的には利便性や必要性が重要なようだ。これまでに何回か国交省にもお願いをしている。今後も住民の熱意と必要性を強く訴えながら進めていく。

問 現在全面通行止めとなっている清和地区の大矢川に架かる天神橋は、歩行者、特に高齢者や子供たちのような車を運転できない人にとっては日々の生活に必要な橋だ。せめて歩行者や自転車等は通れるよう、全面通行止めを解除できないか。

答 (建設課長) 平成30年度の点検診断で、つり橋のメインケーブル等に破損箇所が確認された。補修及び架け替えを検討したが、塗料の塗膜の中から特別産業廃棄物である低濃度のPCBが検出された。これを処理するためには、特別産業廃棄物管理責任者の資格を発注者側が持つておらねばならず、取得の準備をしている。



大矢川に架かる天神橋

質問の全容はこちら



新型コロナワクチンの集団接種会場が清和地区に設定されなかったのは何故か



ふじわら ひでゆき 藤原 秀幸 議員

答 清和地区の施設も考慮したが、会場の広さや部屋数、駐車場の広さが不十分だった。

問 新型コロナ禍が続く中、令和3年度の税込減の見込みは。また、令和2年度山都町国民健康保険特別会計補正第3号の歳入の部に、国民健康保険税の減額が2,500万円計上されているが、コロナの影響か。

答 (税務住民課長) 経済調査協会等によると、景気動向指数が前年比79%であり、令和3年度の当初予算では、税額を減額している。特に営業所得の減額を見込んでいる。法人町民税も、令和3年度は

減額の見込みである。
答 (健康ほけん課長) 本議会での減額補正は、新型コロナによる減免を3月末まで見込んだもの。約650万円を減額している。
答 (総務課長) 来年度の歳入の町税は、個人住民税で約3,670万円、法人町民税で約1,360万円、合わせて約5,030万円ほどの減収の見込み。

問 新型コロナウイルス感染症対応地方創生交付金、1次、2次、3次の交付額は。
答 (企画政策課長) 交付金の額は、1次で約1億1,000万円、2次で約3億8,000万円、3次で約2億円となり合計約7億円の交付額と

なっている。
問 1次、2次の交付金は年度内に使い切る必要があると聞いているが、執行残はどれくらいか。
答 (企画政策課長) 2次分で本年度中に執行が終わらない分は繰り越す。また、3次の交付金は、一部を本議会の補正予算で計上した山都町事業継続支援給付金の財源として使用、残りは令和3年度事業で活用する。

問 新型コロナワクチンの集団接種会場が清和地区にはなく、なぜ2か所なのか。清和地区には集落センターがあり、接種チームの移動やスケジュールの組換えで対応できることではないか。
答 (健康ほけん課長) 集団接種会場は、新型コロナウィルス感染症の感染防止対策を念頭に、会場が広いこと、駐車場が広いこと、複数の部屋確保ができること、バリアフリー、洋式トイレ、身障者用トイレを完備していること、室温管理ができること、冷蔵庫の設置が



『各家庭に届いたワクチン接種券』大切に保管しましょう

あることなどを選定の要件とした。これらの要件を備えている施設として、矢部保健福祉センター千寿苑と蘇陽支所の2会場を選定。清和地区の施設も考慮したが、会場の広さや部屋数、駐車場の広さが不十分だった。

質問の全文はこちら



防衛省対応窓口はそれと分かる名称にし、異動の無い専門の職員を配置できないか

答 現在、担当職員がしっかり対応している。職務内容が明確に分かる形を、今後の町の組織整備において進めて行きたい。



なかもら 中村 五彦 議員

問 町長の職務4年間を経験し、行政と民間の仕事の進め方で感じた相違点はあるか。

答 (町長) 官と民を比較すると、官は予算取りが大変であり、また、予算をいかに有効に使うかが重要。民間は、予算も立てるが、それから何を生み出し、利益を出すかという仕事が必要となる。また、多くの行政の事業は、議会の同意を得る必要があり、取締役会等で決めればすぐ仕事ができる民間とは違う。更に一番の違いは、利益

を生むか生まないか。民間の会社であれば、例えば体育館を造るにあたっては、採算性を重視するが、行政は町民の健康と福祉、金では計れない部分を行政が担う。その違いは大きい。

問 防衛省への対応について、先日、大矢野原演習場で火災(防衛省ではこれは野火と言う)が発生したが、地元住民への情報がなく不安であった。町と防衛省との協定書のようなものをがっちり作り、お互いに責任と権利を明確にする必要があるのではないか。また、防災無線や、アプリのライブジョンを活用して、野火情報というような言い方で、確実に伝わるような

仕組みを作って欲しいが、できないか。

答 (企画政策課長) 今後さらに連絡体制の強化を自衛隊と図っていきたい。また、防災行政無線、ライブジョン等も活用しながら、住民の皆様へ情報をお伝えしていきたい。

問 自衛隊員募集の懸垂幕や、自衛隊退職者の任用など、町からの防衛省への歩み寄りというのは、演習場が存在し、多数の自衛隊員を輩出している山都町としては当然のことだと考える。現在、企画政策課が防衛省担当窓口だが、防衛省ある

いは大矢野原演習場等の名前のついた部署を設け、防衛省対応の専門職を置けないか。防衛省との大きなパイプ役となり、様々な施策の推進力として期待できる。

答 (町長) 現在は企画政策課内で担当者を決めて事務を進めており、

防衛省、期成会、その他様々な関係団体との連絡業務をしている。これら担当職員の職務内容が明確に分かる形を、今後の町の組織整備において進めて行きたい。



大矢野原演習場での演習の様子

質問の全容はこちら



学校給食に山都町の有機野菜をもっと増やす方策を



にしだ 西田 由未子 議員

答 学校給食では、有機農産物をはじめ山都町産の食材を優先的に使用していきたいと考えている。契約栽培も有効な手段の一つだと考える。

問 山都町では、有機JASの他にくまもとグリーン農業の特別栽培農産物もあるが、そうした安心・安全な食材を、各小中学校、保育所の給食用に今以上に導入するために、ほぼ一年中使うニンジン、タマネギ、ジャガイモを契約栽培という形にはできないか。

答 (農林振興課長)

学校給食も有機野菜の有効な販路先と位置づけられる。あらかじめ決まった量を生産・販売できるので、経営の安定に寄与し、地元での販路

答 (農林振興課長)

九州農政局や本省に確認したが、新たな栽培等の取組に必要なものへの支援であり、冷蔵庫の導入だけだと難しいということだ。他にも様々な補助事業があるので、事業計画と合致するものがあるれば、国県などと連携

確保は流通コストの軽減や包装資材の削減等、メリットがある。

問 販路確保に向けての取組や、生産出荷拡大に必要な機器

リース導入支援というのが農水省の事業としてあるようだが、先の3品目を山都町で年間通して供給するために、手始めに冷凍、冷蔵保存庫を用意することはできないか。

して支援を行う。

答 (町長)

契約栽培は、その3品目についてはすぐにでもできると思われる。保管用の冷蔵庫等も、その3品目ならば必要ないのではないかと。ほとんどの農家の方々が、タマネギもジャガイモも一年中、ニンジンは何回も種がまけるとのことなので、数量が見えれば契約できると思われる。

問 有機農産物の普及は、健康増進・アレルギー・体質の改善・集中力の向上、さらには生産者の健康維持にも繋がると言われている。有機食材の導入拡大に向けて、国の支援を受けやすくするためにも、例えば給食費を町で統一

して公会計化するなど、何か一つでも実現可能な仕組みを今から整えることはできないか。

答 (学校教育課長)

学校給食では、有機農産物をはじめ、山都町産の食材を優先的に使用していきたいと考えている。給食費の公会計化は、本町でも検討し

ているが、現在は自校方式の給食であるため、これまでどおり学校単位で給食費を徴収する方針。町が一括して同一額の給食費を徴収する場合、給食を通した各学校の特色ある食材調達や、食育、食への関心

にどう影響するかも考慮する必要がある。



矢部中学校の給食調理室の様子

質問の全文はこちら



条例の一部改正

条例の一部改正

【山都町職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び

山都町一般職の給与に関する条例の一部改正】

職員の病気休暇について、結核性疾患についてはその罹患率の低下や治療法の確立により、結核についての特定規定を外すもの。

【山都町職員の育児休暇に関する条例の一部改正】

県の指導により、育児休業をすることが出来ない職員に「職員の育児部分休業により任用された短時間勤務職員」を追加する。

【新型インフルエンザ等対策特別措置法の一部を

改正する法律の施行に伴う関係条例の整理について】

新型コロナウイルス感染症の定義を具体的に記載する内容の文言に改めるため、関係する条例を整理するもの。

【山都町長期継続契約を締結することができる

契約を定める条例の一部改正】

「ソフトウェアの使用許諾契約（ライセンス契約）」について、「役務の提供」に該当し長期契約を締結することができるとの総務省からの技術的助言に基づき、条例の一部改正を行うもの。

【山都町行政区設置条例の一部改正】

北中島1区内の区域（1区 瀬戸長畑）が統合された。従前より統合された、菅尾、長谷についても併せて改正を行うもの。

【山都町道路占用料徴収の一部改正】

道路法等の改正により、自動運行補助施設等の道路占有物件が追加されたことから、条例の一部を改正するもの。平成24年度の道路法等の改正で追加された太陽光

発電施設等についても今回併せて改正を行うもの。

【山都町が管理する町道の

構造の技術的基準に関する条例等の一部改正】

道路法等の一部改正に伴い、道路構造法が改正となったもの。

【山都町一般住宅及び復興一般住宅の設置及び

管理に関する条例の一部改正】

町内の復興一般住宅の追加と、入居選考に係る優先事項を追加するもの。

【山都町服掛松キャンプ場条例の一部改正】

ロッジ建築工事による施設数量の変更に伴い、施設数量と使用料を改めるもの。

【山都町井無田キャンプ場条例の一部改正】

【山都町緑仙峡フィッシングパーク条例の一部改正】

【山都町青葉の瀬交流促進施設設置条例の一部改正】

右の各施設の状況や利用形態の変化等に伴い、施設の名称と使用料を改めるもの。

【山都町介護保険条例の一部改正】

3年に一度見直される介護保険料の見直しにより条例の一部を改正するもの。

【山都町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正】

指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める省令の改正により、当該基準に基づく関連条例を改正するもの。



緑仙峡フィッシングパーク

条例の制定

【町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例】

地方自治法改正により、町長等の職務行為に関する損害賠償責任の一部を免責することができるようになり、この改正に係る条例を制定するもの。

【山都町営住宅を山都町復興一般住宅に建て替える場合等の入居の特例に関する条例】

町営住宅から復興一般住宅に入居する際の特例を定めたもの。

【山都町まち・ひと・しごと創生推進基金条例】

企業からの寄付金(企業版ふるさと納税寄付)を、次年度以降のまち・ひと・しごと創生寄付活用事業費の財源に充てるため基金を設置するもの。

【山都町道維持管理基金条例】

特定防衛施設周辺整備調整交付金について、年度内執行が見込めない事から基金化し、弾力的、安定的かつ効率的に事業を推進するために基金を創設し、町道維持等の経費に充てるもの。

発委

発委とは、議会の委員会が議案を議会に提出すること。

【発委第1号】

山都町議会委員会条例の一部改正

【発委第2号】

山都町議会広報の発行に関する規則の一部改正

発委第1号、第2号については、新型コロナウイルス感染症のまん延防止を図る観点から、委員会の開催場所への参集が困難と判断される場合、オンライン会議を開催するために必要な事項を定めるもの。

【発委第3号】

山都町議会会議規則の一部改正

男女の議員が活動しやすい環境整備の一環として、出産、育児、介護などの欠席事由を整備するとともに、出産については母性保護の観点から出産に係る産前、産後の欠席期間を規定するもの。
また、請願者の利便性の向上を図るため、議会への請願手続きについて、押印の義務付けを見直し改めるもの。更にタブレット端末の活用について必要な事項を定めるもの。

【発委第4号】

山都町議会タブレット端末運用に関する規則の制定

現在の情報化社会において、効率的で迅速な議会運営・議案審議・情報の共有、議会の活性化などを図るとともに、町民に開かれた議会の実現と更なる議会改革を推進するために、タブレット端末の適正な使用について新たに規定するもの。

工事請負契約

工事名…矢部健康福祉センター千寿苑空調設備更新工事
金額…5,637万5千円

内容…空調設備の老朽化が深刻であり、災害時の避難所として活用するための環境を整備する。

工事請負変更契約

工事名…水ノ田尾下鶴線道路改良工事
金額…239万1,796円の増額
総額…6,333万1,796円

物品売買契約

品名…小中学校用パソコン(73台)
金額…703万4,280円

内容…新型コロナウイルス感染症防止対策による分散授業や、休校時の遠隔授業に使用する教師用パソコン。



合志市の人権教育を学ぶ

総務常任委員会先進地視察研修 令和3年3月26日

面積53平方km、人口6万人、2006年合志町と西合志町が合併して発足。従来の部落差別、ハンセン病医療施設、ハンセン病医療刑務所跡などがある。

合志市中島栄治教育長より、人権教育について

- 部落差別はどこにあるのか？差別する側の心の中の問題であることの合意形成を、運動団体との間ではかる。
- 部落差別は人権教育の出発点としては大事であるが、中心ではない。あらゆる差別を「しない」ではなく「なくす」取り組みを進める。
- 人権教育の目的は人のためではなく、自分が自分らしく生きる、人との絆を増やし豊かな人生を送るため。

など、熱意溢れるお話を伺うことができた。人権問題にかかわる社会情勢は刻一刻と変化している、人権教育・啓発の目標・進め方も変化を必要とされている、と確信した。その後、新設開校間近の合志楓の森小学校・中学校の視察をした。



九州脊梁山脈に咲くヒカゲツツジ

【教育長】再任

井手 文雄さん（下馬尾）

令和元年から協議いただいた「学校規模適正化」についての報告を受け、より魅力ある教育環境の構築を目指します。ICT機器も整備が進みました。しっかりと活用し、児童生徒の教育の充実を支えます。

【教育委員】再任

坂梨理恵子さん（浜町）

【監査委員】再任

志賀美枝子さん（金内）

次の定例会は、6月の予定です。

※詳しい日程等については、議会議務局までお問い合わせください。(☎72-1289)
※感染拡大防止のため、傍聴席数が変更になる可能性もあります。予めご了承ください。



本誌で掲載していない3月定例会の議案と議決結果は、山都町HPに掲載してあります。



発行責任者	議長	議員	編集後記
井手 文雄	井手 文雄	井手 文雄	井手 文雄
委員	委員	委員	委員
中村 五彦	中村 五彦	中村 五彦	中村 五彦
副委員長	副委員長	副委員長	副委員長
興格 誠	興格 誠	興格 誠	興格 誠
委員	委員	委員	委員
吉川 美加	吉川 美加	吉川 美加	吉川 美加
後藤 壽廣	後藤 壽廣	後藤 壽廣	後藤 壽廣